



# 見分ける

## 分子の特徴を見分ける信号機

ワインの味も、花の香りも、人の顔も、捉えた特徴を組み合わせて「なにものか」を私たちは認識しています。目には見えない分子でも、いくつかの特徴が分かれば、顕微鏡を覗きこまずとも特定できるかもしれません。

そこで南 豪准教授が作ったのは、分子の特徴を知らせるセンサーアレイシステム。特徴的な構造にくっつくと、信号機のように光ったり色が変わったりする化合物を、ガラスや紙の上にズラリと並べました。調べたい液体を流し込み、それぞれの信号の変化を解析すると、含まれる分子の種類と量が分かります。有害物質の検出からワインの目利きまで、正体を見分ける新たな材料・デバイスが安全で楽しい暮らしを支えます。

